

ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 146 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2023 年 12 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

寒暖差が大きかった 11 月の作業は・・・

11 月の定例作業日(11/28)、

当日の朝はひんやりとしていましたが、小春日和の陽射しのもとで、やや汗をかくような心地よい作業日和、そして昼食会日和でした。

参加者は 17 名。内訳は、林内班 9 名+1 名(差し入れ)。ゴミ拾い班 7 名。なお、昼食会参加者は、7 名でした。

ゴミ拾い班は、ボーイスカウト区域の大量ゴミをリヤカーに積んだ後、リヤカーを戻す班と、そのまま園内ゴミ拾いに向かう班に分かれ、園内班は東西通り-東京狭山線沿いと進み、サッカー場登り口へ。リヤカーを戻した班はサッカー場から東京狭山線に降りてきて合流。その後、開発交差点から「湿地」に向かい、「湿地」の入り口で休憩。その後、霊園通りを見廻り、中央通りを戻りました。

コース記号は、イ-K-L-(リヤカー戻し)-I-F-G'-O-P'-a-P-E-S-R-C-i-ロ-C-U-C-B-j-L-K となります。

分別では、管理人さんに立ち会ってもらい、大量ゴミの内容を点検してもらい(店じまい品目?~売上帳・メニュー・業務用調味料など多種)、公園課への報告もお願いしました。

ボーイスカウト区域のゴミ以外の特記事項は、①「湿地」は、やや湿り気がある程度でした。②霊園通りには、毛布が捨てられており、「何かくるまってないか」と恐る恐る開けてみましたが何もなかったことを確認して回収しました。

林内班は、下草刈りと前回の伐採枝や倒木の運搬移動作業を行いました。片側パンクしたリヤカーで、林内に点在した倒木・伐採枝を積み込み、所定の集積場所へ移動・集積の作業を行いました。参加した若人達の手で、パンクタイヤと軟弱な林床をモノともせず、かたづけ作業をおしすすめ、完了させました。



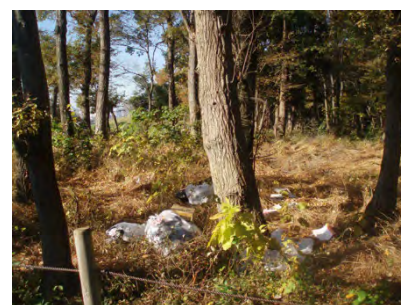
[11/28 参加者集合写真]

まずは、ゴミ班の**水島さん**からの報告です。

『カルチャパーク全体が秋の様相で、ポカポカ陽気の温かいなかボランティア日和となりました。』

ボーイスカウト区域の大量ゴミは酷いものでした。まずリヤ

カーいっぱい積み込んで、旧管理棟のところまで引き返しました。分別の時点で管理棟の人にも立ちあってもらい、中身を拾い出してみました。店じまいの事務用品の数々と思われ、内容の確認を管理人の方をお願いしました。犯人が特定出来たら厳重に注意して、再発が起らないよう徹底してもらいたいものです。



[11/28 大量ゴミが散逸]

前月の肉の固まりなど(バーベキューの残骸)の投げ捨てに続いて本当に腹が立ちます。

狭山線から湿地まではさほどのゴミはなく、以前に比べればごみのポイ捨ては減ってきており良い傾向が続いています。

湿地は秋が深まってきた様子が見られ、きれいな紅葉を見つけて思わずパチリ、写真を撮りました。小鳥のさえずりがしきりに聞こえてきて、一回り歩きながらカルチャパークの雰囲気深く味わうことが出来ました。来てよかったとの感じで



〔11/28「湿地」付近の紅葉〕

所沢カルチャパークを考える「第2回未来会議」が12月9日に所沢市役所大会議室で行われます。グループワークで討議する内容とのこと、具体的な方針がまとまることを期待したいと思います。』



〔11/28 霊園通りのゴミ〕



〔11/28 ゴミ集約〕

次いで、林内班の**三浦さん**からの報告です。『朝の気温は6度とほぼ平年並みだが日中は20度近くになり、季節外れの10月並みの気温とのこと。秋があっという間に過ぎ、今年は駄目かなと思っていた紅葉だが、カルチャーパークでは今モミジが最盛期、紺碧の青空に陽

光を通した深紅の葉裏の美しさには感動させられた。今日の参加者は、持病の腰痛を抱えつつ差し入れの為にわざわざ参加のK女史をはじめ、いつも期待以上の働きをしてくれる企業から3人が加わり（延べ数88人目）、最終的に17人が集まった。班編成はゴミ収集班7人、林内班11名。林内班は前回と同じ場所で今日が5回目。一帯は藪丈が高く密に繁っており奥の見通しが全くきかない鬱蒼とした状態のうえ広いので時間がかかると思っていたがその通りになっている。理由は想定を超えた落下枝の多さと、運び出すのに時間を要したこと。加えて刈り払い機で刈り払いした分も加わり処理量が増えたことにあった。6年前に着手した時のような常緑樹は少なくなり、日当たりが良くなったので下草や藪や竹類が著しく生長したからだ。他の場所と比較しても、このエリアが一番その傾向が著しい。この日の主な作業は林内各所に集積してある落下枝や枝類の運搬、それ以外は刈り払い機による下刈り、チェーンソーは長い倒木や落下枝をパッカー車積み込みサイズに切断だ。着手前の注意事項として立ち枯れし枝だけの大木に近づく際には突然枝の落下の恐れがあるので各自状況を目視しながら呉々も注意しながら作業する事、ヘルメットの着用に心がけるようお願いした。時間とともに気温が上昇し全員が軽い汗をかきつつ11

時過ぎには無事作業を終えた。何人もの人からの差し入れに、疲れを癒やされ言うこと無し。お礼を申し上げたい。

前回(11/14)の作業でも懸念された「立ち枯れ、落下枝の危険対策」について管理事務所の岩田さんに連絡したところ、既に公園課で調査済みであり我々対策を採らなくても良いのではとの話を戴いたことを報告したい。』



〔11/28 林内班集合写真〕



〔11/28 林内作業-1〕



〔11/28 林内作業-2〕



〔11/28 林内作業-積出し〕

~~~~~

## 11月の第二作業日(11/14)、

作業日前数日は、秋を通り越して冬になったと思われるような寒さでした。そして当日の朝も一段と冷え込んで寒かったけど、作業開始頃からの陽射しは暖くなりました。当日は外気も澄み渡り、遠く富士山を見た方もいらっしゃいました。

作業参加者は11名(うち1名は10時半ころから林内作業地へ、そして差し入れ~大学芋に補助の水分まで・・・)。

参加者の作業班内訳は、林内班が7+1名、ゴミ拾い班が3名となりました。



[11/14 作業開始前集合写真]

以下、林内班・三浦さんからの詳細報告です。

『朝の気温が4度と今年一番の冷え込みだ。暦の上では11月8日が「立冬」だったが、秋の季節を味わう間もなく夏から冬一気に跳んだような感覚があった。晩秋とも初冬どちらとも言えぬ悩ましい陽気が続いていたから面食らった。』

作業当日は無風状態で日射しが強く、薄ら汗ばむ程の陽気と活動日和だがメリハリがなく例年のような季節感が感じられない。夏の猛暑の余韻が未だに残

り身体が順応していないのかも知れない。今年の紅葉があまり綺麗ではないのも同じかも。この日新規加入者1人があり集まったのは10人、途中から差し入れしてくれたK女史を含め11人。準備運動、記録写真後の班分けはゴミ収集班3人、林内班7人(後半8人)体制でのスタート。

林内班はボーイスカウトエリアに接する場所で今日が4回目になる。その場所には明らかに「ナラ枯れ」の樹が数本確認出来る。よく見ると梢上の枝も葉も無く太い幹と枝だけが八方に広がって裸状態。見るからに怖い、これが突然音もなく折れて落下したら考えると「ゾーッ」とする。今日はこの周辺が作業場所となるので万一の事を考えるととても気掛りだ。その為前もって全員で危険な状態を見て貰ったあと注意点とヘルメットの着用をお願いした。深いブッシュ地帯には未だ大量の枝が落ちており中でも驚いたのは人の腿(もも)程の太さの幹が林床に突き刺ささり地上部は3m位の高さで立っていたことだ。簡単に抜けるかと思いきやびくともしないほど土中深く突き刺さっていた。これが人間を直撃したら大怪我や重大事故になりかねない。考えただけで近寄るのが躊躇われる。刈り払い機やチェーンソーの作業の際には何十回となく上空の様子を見ながらの作業を余儀なくされたのは言うまでも無い。正直怖かつ

たと言うのが本音だ。幸い何事もなく終えられ「ホッ」と胸をなでおろした。

気掛りな点は我々の作業で藪が無くなった後のことだ。子供や大人が自由に森に入り込めるようになってこの立ち枯れの樹が残っていることは危険であり不安を抱えたままとなることだ。殆どの人達は下を見て上の枯れ木見ないからより怖い。応急対策として周りからでも危険が分かる黄色のテープや張り紙などで注意喚起することが有効だと考えられるので公園課から提供して貰い我々が対応したらどうかも含め公園課や緑町の公園管理事務所の岩田さんに連絡し相談しようと考えた。』



[11/14 林内班集合]



[11/14 林内作業-1]



[11/14 林内作業-2]



[11/14 柿の収穫作業]

ゴミ班のコースは、前回と同じ、東西通り-東京狭山線沿い-サッカー場-桜木神社通り-第二駐車場-林内作業地-旧管理棟。

コース記号は イ-K-L-I-F-G-0-a-a' -k-i-ロ-C-B-W-b' -b-g-g' -A-d-N-K となります。

特記事項は、①「湿地」はほんのわづかな湿り気のみでした。②東京狭山線沿いでは倒木を切断し、通りやすいようにしました(新規参加の高橋さん活躍)。



[11/14 ゴミ班集合]



[11/14 倒木を切断して]



[11/14 ゴミ集約]

## 12月の作業予定

最終現場作業日:12月12日(火)

作業時間:9:30~11:30

\* 作業内容:

ゴミ拾い・林内作業

\* 持ち物: 手袋、タオル、雨具、飲み物、念のため、保険証・お薬手帳など

荒天など天候不順の場合は、事前に中止連絡しますが、微妙な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで  
[090-8014-3310]連絡下さい。  
~~~~~

12/26(火)

10時~ 懇談会

於:生涯学習推進センター

12時~ 忘年会

於:ちとせ

参加申し込み期限 12/20

深澤まで

12月以降の行動予定日-

12/12(火)

12/26(火)10時から懇談会(生涯学習推進センター101)、
12時から忘年会「ちとせ」

2024年 1/11(木)、1/30(火:定例)、2/13(火)、2/27(火:定例)、3/12(火)、3/26(火:定例)

*3月の中~下旬に応援隊の総会的懇談会を実施します。

コロナ対策の基本について

WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了しましたが、同時に「ウイルスは命を奪い続け、変異も続けている。宣言の終了をもって各国は国民に、新型コロナは心配ないというメッセージを送ってはいけない」と述べています。なお、まだパンデミック宣言は終了していません。ということで従来の予防策に準じた行動を基本とします。

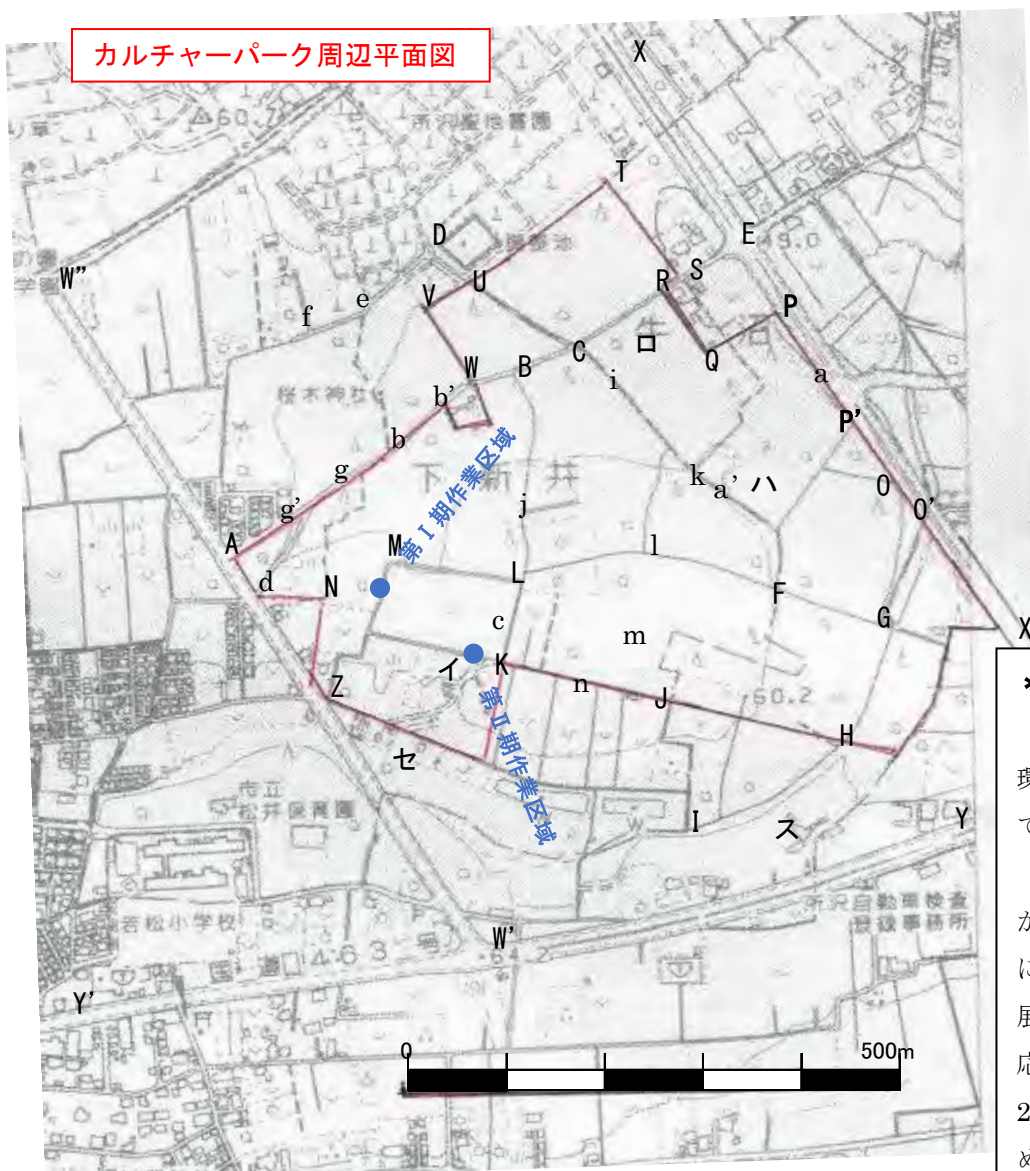
感染予防対策、

- ・間隔をとっての行動。(体操・作業)
- ・マスク着用:各自の判断とします。
- ・作業間隔の短縮・水分補給。
- ・使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。
なお、石鹸・消毒用アルコールは準備しています。

新型コロナ発生時の対応策

- ①毎回参加者名簿(連絡先電話番号入り)を作成する。
- ②次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)
イ.症状があり、検査を受けた時。
ハ.検査結果と医師・保健所などの指示
- ③陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

地点名	イ	現在のデイキャンプ場
	ロ	湿 地
	ハ	現在のサッカー場
	セ	特養、グループホーム
	ス	産 廃
	E	交差点「開発」
	W'	交差点「牛沼」
通り名	X-E-X'	県道東京狭山線
	W'' -A-W'	市道 カルチャーパーク通り
	Y-W' -Y'	国道
園内通り名 (仮称の たたき台です)	A-B-C-E	桜木神社通り
	D-C	霊園通り
	C-F	サッカー場通り
	B-L-K	中央通り
	L-F-G	東西通り(L-F:フラワー通り)
	G-H	東通り
	K-J-I	農道
	I-H	産廃裏通り

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。
皆さんからの御意見をお寄せください。

* この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広がっています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。

* お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。